

特定給食施設等研修会アンケート結果

平成 27 年 12 月 11 日(金)

奈良市保健所保健総務課

回収率 100% (15 名)

1. 個別支援について具体策を得ることができましたか

できた	3 人 (20%)
まあまあできた	10 人 (66.7%)
あまりできなかった	2 人 (13.3%)
できなかった	0 人 (0%)

(具体策)

- ・ 肥満児に対するアプローチは、栄養士、保育士で話し合いを行い、量や回数について共通の決まりを作るなどしていこうと思います（今は保育士にまかせっきりで、食事量などがほとんど分らない状態のため）
- ・ 肥満ややせの児童に対して、支援や食べ方の情報提供を行う場合、聞き取った内容を参考に改善点をお伝えするように栄養士として、アプローチする。また、保育士さんや他職種の方々と連携すること。
- ・ 肥満の子どもは現段階ではいませんが、もし出てきた場合は肥満度判定曲線をもとに努めていきたいです。
- ・ 食事・栄養相談記録票を活用し、園全体で情報を共有できたらと思います。
- ・ 食事・栄養相談記録票を参考に、アレルギー面談の記録を同じように作って活用していきたいです。担任の先生が変わっても情報が共有でき、面談の経緯が分かることは大切だと思う。
- ・ 保育士さんにまかせていたり、直接対応できないことが多く、直接関わりを持たせたいと思います。
- ・ 成長曲線を活用し、食生活の変化を毎月の体重測定などで確認する。生活リズムを知る。一番は適切な現状把握が必要だと思います。
- ・ おかわりの量を減らす。
- ・ 肥満などの問題がある場合は親の生活習慣による事がある。親の指導も大切、成長曲線を活用して支援していく。
- ・ 情報の共有。
- ・ 発達支援が必要な児に対する支援は、マニュアル化することも難しく画一的な対応ができないが、保育士からの給食時間の様子の聞き取り情報からもいかに栄養価だけでなく楽しんで給食、食事を食べれるか等、視点も広く支援する必要がある。
- ・ 肥満児に関して 課題（1）噛んでいない対策①フォークではなくハシで食べる②ハシ置きを使う。課題（2）栄養士が保護者や児に指導するタイミングがない対策①職員会議などで支援が必要な児を共有する。②保育士が仲立ちとなり保護者に栄養士とつながりを持ってもらう。③栄養相談ボックスの設置。
- ・ おかわり対応、保育士、看護師との連携、栄養相談
- ・ 調理業務が忙しくて子どもたちと関わる時間もない状況なので、個別支援をしていく余裕が見えてこないです。

- ・ 栄養士だけでなく、園全体として個別にアプローチしていく必要がある。担任の先生ともしっかり話をし、個をよく自分でも見直し具体策を考えていきたいです。
2. 研修会への参加を通じて、施設の栄養士として今後取り組みたいことは何ですか？
- ・ 個別対応を進めていければと思いました。
 - ・ 施設の状況にあった栄養管理を行っていきたいと思います。
 - ・ 子ども達の健康状態を把握し、子どもに合わせた献立を作り、提供出来たらと思います。
 - ・ 調理や献立作成に時間を取られて、なかなか部屋の様子を見にまわったり、保育士の先生と話すことが出来ないでいるので、少しの時間でも作って、リアルな情報を得ていきたい。
 - ・ 食品構成の見直し
 - ・ 個別のアプローチなどもっと取り組んでいけたらいいと思いました。おかわりの量や回数について検討したいと思います。
 - ・ 発達障害の児童への個別支援について考えていきたいです。離乳食についても個別の対応。そしゃくについての勉強、スキルアップ。
 - ・ 個別対応するべき児童には支援をしていく方向で考えていきたい
 - ・ 施設の児童の様子をしっかりと知り、献立作成から考えていきたい。
 - ・ 目標設定の見直し、評価が必要
 - ・ 1人1人の子どもたちにとって食事が楽しく健やかな成長に繋がるように、集団としてではなく、個々を見ていけるよう保育現場を見ていきたい。
 - ・ 個別支援
 - ・ クッキングや野菜作りなど
 - ・ 今までできていなかった栄養管理。(1つ1つ理解をしたうえで進めていく)
3. 研修会全体を通して、参加された感想やご意見等をご自由にお書きください。
- ・ 色々な栄養士の方と意見交換をすることが出来、良い機会でした。
 - ・ 他園の栄養管理方法や個別支援方法などの情報交換ができ、大変勉強になりました。この様な研修会を開催して頂き、ありがとうございました。
 - ・ 貴重な時間をいただきありがとうございました。気づかなかった点が多々あり気づけて良かったと思います。献立作成の見直し等努めていきたいです。
 - ・ たくさんの“気づき”がありました。給食室という少し隔離された空間で保育士の先生方との距離を縮めて、よりよい関係を築いていき、給食のいろんな意味での向上を考えていきたいです。
 - ・ 3回あったので、色々な人と意見交換ができ、良かった。続けて研修があったことで、分かりやすかった。
 - ・ 他の施設の方の話を聞くことはあまりないので良い経験になりました。
 - ・ GWの意見交換がとても良かったと感じています。事例を知ることによって取り組みやアプローチがかわるのかなと思います。
 - ・ 全く園の状況もわかっていない状態で参加して、少しずつですがわかってきて、これからはつなげていきたいと思っています。
 - ・ 今回、3回の研修会で、献立作成や個別支援について深く考えることが出来た。又、各施設の栄養士の方との意見交換の時間が多く、普段出来ない話が出来たのでとても良かった。

った。

- ・ 同じ立場の栄養士として、情報交換ができたことが、各々の取り組みの後押しになると思いました。
- ・ 栄養管理の考え方や、モチベーションが上がった。他施設が課題に感じていることが、委託側の栄養士や、自園調理では違うため、視点が広がり、知識を得るだけでなく、考え方や課題解決能力が高められると感じた。
- ・ 園で個別支援が必要な児に対してどのようなアプローチがなされているか分かった。健診でフォローになった児の情報を園の保育士、栄養士と共有できればうまく役割分担し、効果的なアプローチにつながるのではないかと！
- ・ 栄養管理の方向性や具体的にほかの園がどうしてるかが分かりました。大変ためになりました。ありがとうございました。
- ・ 委託、直営の栄養士さんとお話ができ、色々と勉強になりました。
- ・ 新しくできた保育園で何からスタートしたら良いのか迷いもありましたが研修に参加し道筋を見つけられたように思います。ありがとうございました。

4. 施設の栄養管理を運営管理する上で行政の協力支援等、期待することがあればご記入ください。

- ・ ボランティアで食育の話などをしていただける方がいれば教えていただきたいです。
- ・ 栄養管理に関わるマニュアルや最新の情報を教えて頂くこと。
- ・ 栄養士設置義務。
- ・ 食育のやり方や方法など教えて頂きたいです。
- ・ 施設共通課題について、研修やいい事例について情報共有を図る。
- ・ 施設が求めていること、困難に感じていることを共感し、課題が解決できるように検討していきたい。
- ・ 栄養相談などで自分だけでは分からないことを相談できたら嬉しい。
- ・ 食育に関するとりくみについて、実践していることも少なく事例などあれば教えて欲しいです。